

問番号	問内容
他の助成金との関係	
★ Q11-01	他の助成金との併給はできますか。

同一の対象労働者の同一の期間について、雇用調整助成金（出向）、労働移動支援助成金（早期雇入れ支援コース）、中途採用等支援助成金（中途採用拡大コース（45歳以上初採用））、特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース、生涯現役コース、被災者雇用開発コース、発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース、安定雇用実現コース、就職氷河期世代安定雇用実現コース、生活保護受給者等雇用開発コース、成長分野人材確保・育成コース）、トライアル雇用助成金（一般トライアルコース、障害者トライアルコース、障害者短時間トライアルコース、新型コロナウイルス感染症対応トライアルコース、新型コロナウイルス感染症対応短時間トライアルコース、若年・女性建設労働者トライアルコース）、地域雇用開発助成金（沖縄若年者雇用促進コース）、通年雇用助成金（職業訓練及び新分野進出除く）及び両立支援等助成金（出生時両立支援コース（第1種）、介護離職防止支援コース、育児休業等支援コース（育休取得時、業務代替支援（令和3年度までの代替要員確保時を含む）、職場復帰後支援（子の看護休暇制度）））との併給は行いません。

また、同一の者の同一の日（期間）に係る措置に対して、産業雇用安定助成金、障害者雇用安定助成金、人材確保等支援助成金及び人材開発支援助成金の賃金助成に係る支給との併給は行いません。

なお、雇用調整助成金（休業）は休暇を取得した日を対象としていないため、また、雇用調整助成金（教育訓練）については休暇を取得した日に訓練を行うことはできないため、同一の対象労働者の同一の期間について、本助成金と同時に支給要件を満たすことはありません。

★ Q11-02	感染症拡大に伴う経営状況の悪化によって営業の休止等を行い、従業員を自宅待機させる事業主において、休校中の小学校等の子がいる従業員に限って給与を全額支給して本助成金の申請をしても差し支えありませんか。その他の従業員には6割の休業手当のみ支給することとなり、小学校以下の子どもがいる労働者とそうでない労働者とで、事業主が支給する賃金が異なることとなりますが、問題になりませんか。
----------	---

感染症拡大に伴う経営状況の悪化によって元々営業の休止等をしており、従業員を自宅待機させ、休業手当を支払うこととしていた場合でも、臨時休業等をした小学校等に通う子どもがいる従業員について、本人の申請又は同意を得て休暇として取り扱い、休暇中の賃金全額を支給した場合には、本助成金の支給申請を行うことも可能です。なお、雇用調整助成金（休業等）は、休暇については助成対象としていないため、同一の対象労働者の同一の期間について、本助成金と同時に支給要件を満たすことはありません。